

鶴岡市議会 総務常任委視察 岐阜、滋賀、三重、愛知へ

鶴岡市議会総務常任委員会（佐藤博幸委員長・8人）は7月26日～29日、行政視察をおこないました。委員の加藤鉦一議員が参加しました。

ICT防災

初日は岐阜市で「ICT（情報通信技術）を活用した総合防災行政システムについて」研修しました。

ICTによるシステム構築では、いち早く災害情報が市民向けに

配信され、全庁的な対応が迅速におこなわれることが示されました。また、災害弱者の避難状況の把握や、市民の罹災証明の発行の手續きが効率的に実施される様を目にしました。

公共建築物34%削減

2日目は滋賀県長浜市で、「公共施設等総合管理計画について」研修しました。

今ある公共建築物を更新するには、今後40年間で延床面積▲34%

自治会を法人化し ビジネス事業

3日目は、三重県松阪市の山間地、宇気郷地区柚原町で「過疎化に対する取組について」学びました。

住民出資（各世帯1万円）の地縁団体法人「柚原町自治会」が、簡易郵便局の運営を引継ぎ、日用品の店舗「みんなの店」を開設し、宅配サービスの買い物の運行など、コミュニティビジネスで地域の活性化を実現しています。

都市内分権で合併 前の地域力守る

4日目は、愛知県豊田市の「地域自治体制度について」研修しました。

豊田市は都市内分権を推進し、地域自治体を設置し、2つの大きな事業を進めています。

①わくわく事業：住

私の昭和 37

鈴木重雄（88歳・八色木）

農協勤務購買係

今まで泥田につきり、鶴岡、酒田方面の小間使いをして来た私が、農協事務職員として働くことになった。

当時農業以外の勤め人を岡者（おかもの）と呼んでいた。青年団の運動会が毎年7月上旬にあった。農家の若者たちは、春以来連日泥田につきり、除草機押しや四つん這いになり田の草取り作業で疲れ切っていたころ、露明の蒸し暑い時期の陸上競技であるから、木陰で応援しながら「岡者さかなわね」と言っていた。その私が岡に上がって読み書き算盤をすることになった。



事務用品の算盤は必需品であるから、高価な黒檀の

4つ玉を求めた。当時1か月の給料に匹敵するような気がする。計算は青年学級の夜学で勉強していたので自信はあった。

掛け算の九九は小学校低学年の頃に暗記した。3. 3が9（食う）2. 4が8（蜂）とか、ものに例えて覚えた。割り算九九は、青年学級で習った講師は須

民が主体的に取り組む事業に補助金を支出するもので、地域会議で決定される（予算・各地域に年500万円）。

②地域予算提案事業：地域課題の解決策を市の施策に反映する（予

田正敏先生が務めてくれていた。学友に斎藤文雄さんがいて熱心であつたので私たちも感化されていた。2. 1天作の5（1を2で割ると5が余る）とか3. 1. 3. 1（1を3で割ると3になって1余る）というふうな算盤の上で教えてくれたので役に立った。

ただ生来文字は下手だったので恥ずかしい思いをしている。父は名文達筆で便箋に毛筆で手紙を書いていたし、書を好んでいたが、私は兄弟の中で一番下手である。

先輩職員に石川勇雄さんがいて、彼は器用で左手で算盤をおき右手で数字を書いていた。ガリ版も上手であつた。晩年、史跡の研修や古文書の解読など生涯の友として大変お世話になった。

廊下を挟んで役場に太田善治さんがおられて、私たちにガリ版の書き方、鉄筆の使い方や書類のつづり紐にする紙よりを教えてくれた。太田さんは物静かで、書道家で、文章の作り方も習った。教職から役場書記になつたと聞いている。

算・各地域に年2千万円。

地域に予算と権限を配置し、合併前の地域力を守ってきたことは、旧町村を衰退させてきた鶴岡市に大きな学びとなります。



（写真）松阪市宇気郷公民館長・住民協議会長・柚原町自治会長の大石正幸氏を中心に、総務常任委員会のメンバーと事務局、右端は松阪市役所地域づくり応援室主査の清川直樹氏

DDT

“ 蚤虱 馬の尿する 枕元 ”
奥の細道の途次、封人の家（最上町堺田）で詠んだ芭蕉の句である。

戦中戦後、旧制中学低学年の私たちは、農家に協力する勤労働員に従事させられた。苗取り、田植え、除草、稲刈、稲上げ。春夏秋冬の稲作一貫作業である。

庄内の各町や村の集落の農家に5、6人づつが分宿。日数は約1週間。勿論その間の授業は無し。昭和19年、20年8月まで定期的に農家宿泊を繰り返した。慣れない農作業はか

つたが、右手の親指の爪で1匹づつ潰す時のプツンという音は一種の快感だった。

農家泊りだけでなく、学校の授業の一環としての加茂や鼠ヶ関での海洋訓練で、公共施設や旅館に何十人単位の合宿でも、虱との共同生活を余儀なくされた。

そのうち特効薬DDTが市販されるようになった。学校の保健室に生徒を集め、先生が生徒の背後に回り、学生服を脱がせ、後ろ首の下着の襟をいきなりはだけてDDTのスプレーの振りかけ作業にあたるのだった。



(写真) シラミ駆除のため頭にDDTを吹きかけられる子供たち。1947年5月・東京（毎日新聞より）

党綱領の統一戦線方針が、国政を動かす時代が始まっている

—しんぶん赤旗を読んで 青山崇

共産党は、7月15日 形態」と書いており、創立94周年を迎え、8月5日志位委員長が記念講演を行い、標記のことを述べた。「統一戦線」という言葉はなじみが薄い。広辞苑は「ある共通の目標に対して諸党派または諸団体が協力して形成した持続的な運動

汽車通学の駅の改札口を通過する際に、駅員がDDT入りスプレーを持っていて、学生服と下着をはだけて「シユー」の作業を繰り返した。今の世なら、とんだ人権侵害とマスコミが騒ぎ立てるだろう。

かわせていただいたからこそ勝利だと、深く感謝しています」と言っている。これが統一戦線である。産経新聞世論調査は、「次の衆院選でも野党4党は共闘すべきだと思いますか」に「思う」50・8%「思わない」35・0%でした。統一戦線が国民に受け入れられつつある。

例えば天皇について、否定的な見解を示しつつも、その存廃は、将来情勢が熟したとき、国民の総意で解決するとしている。8日の天皇のビデオメッセージについて、しんぶん赤旗9日付は全文を掲載し、高齢によって象徴の責任を果たすのが難しくなるというお気持ちにはよく理解できる。政治の責任で生前退位について真剣な検討を」と志位委員長が見解を述べている。



連日の猛暑

毎日暑い。夏だから暑いのだ。でも、暑い暑いと言う人には、稲の穂が出てから千度が必要なのだから、しばらくはこうでなくちゃ。なんて言っているんだが、やっぱり熱いぜ。しかし、アツイはこの熱の字の方が相応しいと感ずる毎日だ。

だから正に冬なんだわ。蚊とカッパライが心配なこの国から、毎日熱戦が伝えられてくるが。▲4年後の東京はどんな熱さなんだろうナ。世界中から来た選手・応援の方たちで熱さが何重にもなる平和の祭典。熱中症の病院が足りなくなったりして。前回は秋だったのに。

▲こんな時期にだからあんた達は海に入りましたか。俺はもう一回は入りたいと思ってるんだが、お盆を過ぎるとクラゲが心配になるんでサ。しかし、チャポンって肩まで入るぐらいだから、30分海に入るとして往復一時間プラスを見つけたら出来る事なんだが。

▲設計になかった聖火台は出来ることになったようですが、本気でそっちの方も心配してくては、の話が多く出てくる。とすれば救急車も・か。こころのみんなも担当大臣だぜ。▲ところで、藤島体育館に、五輪で泳いでいる小関也朱篤選手のサインが入った運動着が下がっている。何回か

「象徴の務め難しく」

天皇が国民に向け表明

天皇は8日、象徴としての務めについて、ビデオメッセージを発表しました。生前退位の意向を示しているとの見方です。天皇は、そのことと直接関係する時、これまでも象徴の務めを果してきて、これを乗り越えていくことが、難しいと述べています。



天皇(敬称略)

政治の責任で生前退位の真剣な検討が必要

志位委員長が会見



志位委員長(敬称略)

日本共産党の志位和夫委員長は8日、党本部で記者会見し、同日、天皇の生前退位について、真剣な検討が必要だとして、記者団に問われ、方々に「必要だ」と述べた。

天皇のビデオメッセージと志位委員長の会見を1面で報じる8月9日付け「しんぶん赤旗」

▲暦は秋だから、暑い盛りは過ぎたのかもしれないが、それなりに体にクタビレがあるか

下がっている。何回か大きいヤツだなーと見たのが彼だったのだ。よく頑張ったな。 (石川)